



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.9.11 No. 3461

# 9・8労働者集会開かれる 長期強じんな闘いを!

「国鉄清算事業団闘争勝利! 自衛隊の海外派兵・PKO—小選挙区制許すな! 9・8全国労働者総決起集会」は、九月八日午後一時から、東京南部労政会館講堂において開催された。  
おりからの台風の接近にもかかわらず、多くの労働者が参加し、清算事業団闘争勝利、今秋反戦闘争を闘いぬく決意をうちかためた。



清算事業団闘争、反戦闘争への決意を固める

集会は、はじめに全国労組交流センター事務局長でもある水野さんの主催者あいさつではじまり、つづいて連帯のあいさつをうけた。

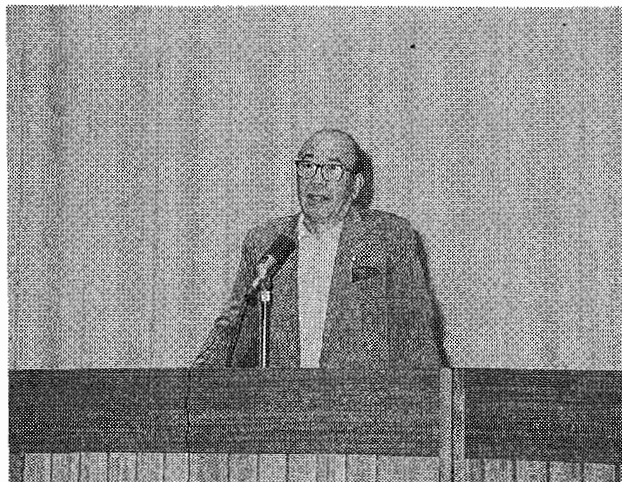
全通四・二八被免職者である神矢さんは、一二年前にマル生闘争で郵政省から六一人が解雇され、今度は全通からも犠牲をうちきられ、組合員権も剥奪された。しかし、職場復帰のために独自の力でも闘っていく決意である。どんな弾圧にも負けぬ力をつくっているのは、三里塚や動労千葉の闘いであった。多くの全通の仲間を支えられながら、最後まで闘いぬくと力強い決意を述べた。

つづいて教育労働者は、「子供たちを、再び戦場におくらない」を貫いて闘いぬく。海部政権は、教科書の改悪や、日の丸・君が代に反対した福岡県教職員組合の組合員に対しては、停職三ヶ月を含む大量処分がかけられている。これに対しては、全国から反撃がまきおこっている。九二年来春が一つの決戦になる。教育労働者は戦争反対を貫いて闘いぬく。

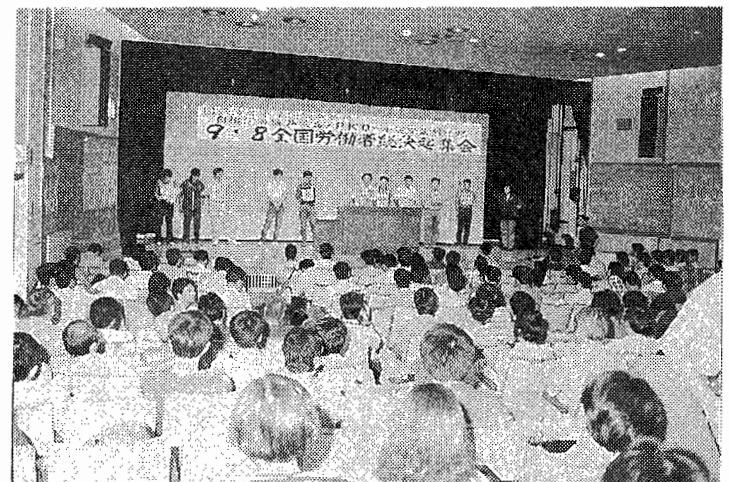
## — 岩井章氏が講演 —

つづいて、元総評事務局長であり、国労出身(現顧問)の岩井章氏の講演をうけた(内容次号)。岩井氏は、経験にふまえながら、中労委闘争は必ず勝てること、問題は長期闘争を覚悟していかに耐えられるか、その態勢作りにあること、あせらないで闘いぬこう、と確信をこめて訴えた。

基調報告を中野動労千葉委員長が行い、激動する世界情勢と戦争につき進む日本の中でいかに反戦闘争を闘うか、さらに分割・民営化らしい五年になろうとする中で、清算事業団闘争、運転保安(安全)



勝利を確信し闘いぬこう、と訴える岩井章氏



和解は許せない、と決意を述べる国労闘争団

闘争勝利にむけて、職場・地域から闘いを、と訴えた。

よせられたメッセージを代表して、六本木敏前国労委員長からのメッセージが紹介されたのち、動労千葉争議団、国労闘争団が決意表明を行った。

動労千葉争議団からは、清算事業団解雇者を代表して高石さんが、公労法一波二波解雇者を代表して山田君が、それぞれ決意表明した。

国労闘争団からは、五闘争団七名が決意表明を行うとともに一闘争団のメッセージが紹介された。また国労東京の労働者が、国労全国大会にむけて、清算事業団闘争勝利のため闘いぬくことを明らかにした。

集会の最後に、動労連帯高崎の和田山委員長が、本集会の成功と清算事業団闘争勝利・JR体制打倒に総決起すること、を訴えつつ、閉会のことばとした。佐藤動労千葉青年部長の団結ガンバローで集会は成功裡に終了した。